

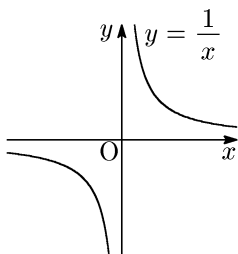
関数の連続性

関数  $y = f(x)$  のグラフが、 $x = a$  となる地点で「つながっている」とき、関数  $f(x)$  は  $x = a$  で連続であるという。

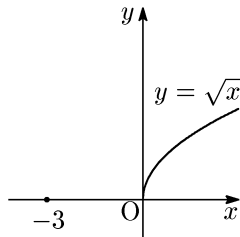
ある区間におけるすべての点で連続である場合は、関数  $f(x)$  は区間で連続であるという。連続であることを条件として表現すると、次のようになる。

● 関数  $f(x)$  が  $x = a$  で連続であるための条件 ●

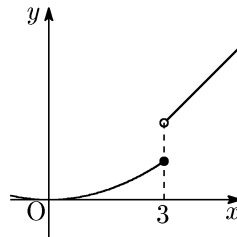
- ①  $x = a$  は  $f(x)$  の定義域に属する。
- ② 極限值  $\lim_{x \rightarrow a} f(x)$  が存在する。( $\iff$  右極限 = 左極限)
- ③  $\lim_{x \rightarrow a} f(x) = f(a)$  が成り立つ。



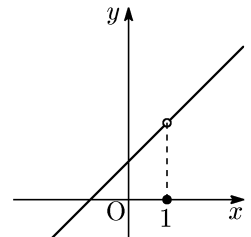
[図 1-1]



[図 1-2]



[図 2]



[図 3]

① は、つまり、[図 1-1] の定義域は \_\_\_\_\_ であるから、 $x = 0$  で連続性は考えられない、ということ。

または [図 1-2] の定義域は \_\_\_\_\_ であるから、 $x = -3$  で連続性は考えられない、ということ。

定義域以外では連続とか連続でないとかの判断はできない、ということである。

② は、つまり、[図 2] は  $x = 3$  で連続でない、ということ。右極限と左極限が一致しない。グラフがずれていたら連続ではない、ということである。

③ は、つまり、[図 3] は  $x = 1$  で連続でない、ということ。右極限と左極限が一致するから②は満たしているのだが、 $\lim_{x \rightarrow 1} f(x)$  と  $f(1)$  が一致しない。グラフに穴が開いていたら連続ではない、ということである。

整関数、分数関数、無理関数、三角関数、指数関数、対数関数はいずれもその定義域で連続である。

**問題 1** 次の関数の定義域をいえ。また、定義域で連続かどうかを調べよ。 (→教科書 p.61 問 18)

- (1)  $f(x) = |x|$                       (2)  $f(x) = \begin{cases} x \\ |x| \\ 0 \end{cases}$                       (3)  $f(x) = \frac{x^2 + 1}{x^2 - 3x + 2}$

## ● 連続関数の性質 (1) ●

ある区間  $I$  で, 関数  $f(x)$ ,  $g(x)$  が連続ならば, 次の関数も同じ区間  $I$  で連続である。

- ①  $hf(x) + kg(x)$     ただし,  $h, k$  は定数
- ②  $f(x)g(x)$
- ③  $\frac{f(x)}{g(x)}$     ただし, 区間  $I$  のすべての  $x$  について,  $g(x) \neq 0$

**問題2** 次の関数の定義域をいえ。また, 定義域で連続かどうかを調べよ。 (→教科書 p.62 問 20)

## ● 連続関数の性質 (2) ●

$f(x)$  が閉区間  $[a, b]$  で連続で,  $f(a)$ ,  $f(b)$  が異符号ならば,  $a$  と  $b$  の間に  $f(c) = 0$  となる  $c$  が少なくとも1つある。

**問題3** 方程式  $\cos x = x$  は, 区間  $0 < x < \frac{\pi}{2}$  に実数解をもつことを示せ。 (→教科書 p.63 問 21)

上の「連続関数の性質 (2)」を一般化すると, 次の**中間値の定理**が得られる。

● 中間値の定理 **重要** ●

$f(x)$  が閉区間  $[a, b]$  で連続で,  $f(a) \neq f(b)$  のとき,  $f(a)$  と  $f(b)$  の間の値  $k$  に対して,  $f(c) = k$  ( $a < c < b$ ) となる  $c$  が少なくとも1つある。